



発行元

岩手教区青年会

発行日

立教 183年7月1日

青年会本部hp



# コロナ禍の中一人出来ることを



青年会委員長

相澤 元

皆さんこんにちは。いつもお道の御用の上に、又教区青年会の活動の上に、ご尽力下さり誠にありがとうございます。

さて、今般のコロナウイルスの状況は回復の兆しであります。以前として困難な状況が続いております。仕事、趣味、生活など様々な所で影響があり、その影響を受けている方々も少なからずおられることが推察致します。それは我々の信仰するお道の上においても、明確に表れ、御本部の月次祭の参拝を控える事や、子どもおぢばがえりの中止、学生会、婦人会、青年会など各会においても行事は見送りや中止になつております。

何ともやるせない寂しい気持ちもありますが、この今の困難な状況もやはり陽気ぐらしをさせてやりたいとの親神様の親心であろうと思う訳であります。世界に目を向けてみても影響が出ており、日本だけではなく世界規模で大勢の方が直しがれ、それに関係して倒産や失業、略奪、暴動なども…

とても辛く厳しい状況が続いているります。そして更に追い打ちをかけるかのように、世界規模でコロナの自粛による、コロナ離婚や虐待、DVなども最近よく耳にします。悲しい事ですね。

ここからは私が個人的に思う事ですが、このコロナの影響での自粛などは、昨今の親子、夫婦などの希薄が騒がれ、普段は色々な状況や状態から一緒に

居ることのできない、夫婦、親子、家族にとつては夫々が向き合う貴重で大切な時間になると思うのです。世界中で昨今の現状を嘆いておられる親神様からのメッセージのような気がしてなりません。そして必ずしも悪い事だけではないと思うのです。言葉にするのは安易かもしませんが、コロナの影響での自粛などにより、インドでは大気汚染が収まり、実に三十年ぶりにヒマラヤ山脈が見えるという事も起きているそうです。他にも中国やベネチア等川がきれいになり本来の姿が戻つたとも聞きます。私達はこの地球という場所、親神様の御身体を借りて普段生活してゐるわけであります。それを自分達の欲のせいで、汚したり、使いすぎたりしているのかもしれません。そういう親神様からのメッセージとも受け取れる様な気がします。だからと言つて皆さんに何かをして欲しい。という訳ではありません。ただ生活する中で、今回の事を経て何か今までと違う思いを持つて頂き、この世界中で感染拡大を続けるコロナの一日も早い収束と皆さんの生活の平穏を共々に祈らせて頂きたいとお願いする次第です。

教区青年会でも、行事なども軒並み中止となつていますが、こういう時だからこそ出来る活動として、献血や支部幸せ拾い（ハートクリーン）を推進しています。皆さん一人一人のご協力が必要です。今こそ岩手教区青年会の若い勢いでみんなで一つの

輪となり一輪一つにこの困難に立ち向かいましょう。宜しくお願ひ致します。



前花巻支部委員長

高橋民男氏

享年53歳

長年にわたり花巻支部委員長を務められた高橋民男さん【花巻分所属】が、3月24日、出直されました。活動の幅は青年会に留まらず、災救隊や教区行事、近年では学生担当委員会花巻支部担当委員も務められ各方面に尽力されました。またその唯一無二のキャラクターで私達を何度も楽しませて下さいました。

哀悼の意を込めまして、民男さんとの思い出の写真を掲載致します。



告別式にて飾られた愛用の作業道具

